

授業科目名	公衆衛生学	担当教員	◎相崎 英樹、吉田 弘 若江 亨祥、上田 竜大	科目ナンバリング NB249
必修	開講年次：2年後期	単位：1単位	授業形態：講義15時間	

【授業概要】

公衆衛生は人文社会科学と自然科学からなる極めて集学的な学問である。本科目では、公衆衛生の理念と目的、集団における健康問題に関する予防医学、社会医学の役割と実際について理解する。さらに、集団レベルでの健康事象の把握方法の基礎を知り、環境要因や生活習慣が健康にもたらす影響とその対策を学修する。

【達成目標】

人は誕生後、健康を損ねる様々な要因に曝される。自然要因として、地球上に存在する物理化学因子や微生物因子や、集団の間での社会的因子の影響を常に受ける。出生から死に至るまでの間に受けるこれら環境要因の作用について、その概略を理解することを第一の目的とする。次に健康の維持向上を図る上で最も効果的な方法を考える姿勢を身に着けることを目指す。健康維持の向上の最良の方法は予防であり、予防医学の実際を意識する姿勢を身に着けることを最終目的とする。

具体的には、人口学・環境衛生学・社会学・社会医学分野を総合した現代公衆衛生学の理解を目指す。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|--|------|
| [01] 感染症総論 | (相崎) |
| [02] 感染症各論 | (相崎) |
| [03] 肝炎と国の対策 | (相崎) |
| [04] ヒトパピローマウイルスによる子宮頸癌の発症機構の考察 | (若江) |
| [05] 子宮頸癌ワクチンについての考察 | (若江) |
| [06] 成人の市中肺炎の臨床(肺炎球菌肺炎、インフルエンザ肺炎、マイコプラズマ肺炎、レジオネラ肺炎、COVID-19などの症例提示をしながら肺炎の臨床像について解説する) | (上田) |
| [07] 感染症診療の基本(接触感染、飛沫感染、空気感染について梅毒・結核・COVID-19などの具体的な疾患を提示しつつ解説する。また、抗菌薬の適正使用、耐性菌への対策について解説する) | (上田) |
| [08] 環境水中のウイルス情報 | (吉田) |

【教科書】

菅又昌実、日本の感染症一明らかにされたこと残された課題一 南山堂、東京、2022

【参考書】

随時資料を提供する。

【評価方法・評価基準】

小テストを毎回実施する(40%)。期末試験(60%)。

【講義のために必要な事前・事後学習】

インターネットによる情報収集・選別を習慣とする姿勢を求める。方法について習熟し、質の高い情報とその活用を絶えず考える姿勢を身に着ける。(事前学習1時間、事後学習1時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

タイムリーな公衆衛生的トピックを毎回示し解説を加えるが、取り上げたテーマについて自発的な情報の収集と分析を求め教員と学生の間でディスカッションを行う。

【備考】

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目